TEPRA LINK

取扱説明書

はじめに

■「TEPRA LINK」について

「TEPRA LINK」は、iPhone や iPad などの iOS 端末で「テプラ」のラベルの作成や編集ができます。また、無線 LAN で接続された「テプラ」本体から印刷できます。ラベルデザインも豊富に用意されているので、お好みのラベルを簡単に作成できます。

対応 iOS バージョンと対応端末

・iOS：iOS 5 以降　※ 2013 年 9 月現在

・iOS 端末：
　iPhone 5/4S/4
　iPod touch（第 5 世代 / 第 4 世代）
　iPad（第 4 世代 / 第 3 世代）、iPad2、iPad mini

最新の対応 iOS と対応端末については当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

- 本製品の使用を原因とする損害・逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、iOS 用アプリ「TEPRA LINK」について書かれています。Windows 用「PC ラベルソフト SPC10」については「テプラ」本体に同梱の取扱説明書、Mac OS 用「シンプルラベルソフト TEPRA SMA3」については当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。また、対応する「テプラ」本体の機能や操作およびテープカートリッジの使いかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本書は、基本ソフト iOS 5 以降が端末にセットアップされていること、またそれらの端末を使用するうえでの基本的な用語や操作について、既に理解されていることを前提に書かれています。用語や基本操作などについての不明な点は、ご使用いただいている端末の説明書などをご覧ください。
- 本書の「MEMO」と「注意」は以下の内容を説明しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
注 意 !	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

- 本文中で使用している画面は、主に iPhone の画面を例に説明しています。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書は、一部仕様と異なる箇所が存在する可能性があります。また、実際の画面とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点などお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

注 意 !

- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

■目次

■対象機種

・「テプラ」PRO SR5900P

・「テプラ」PRO SR3900P ※

・「テプラ」PRO SR3700P ※

・「テプラ」Grand WR1000 ※

※ USB デバイスサーバ RDS10 が必要です。

最新の対象機種については当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

■無線 LAN 環境の確認

「テプラ」本体と iOS 端末の無線 LAN に関する設定が、以下の通りになっているか確認してください。

SR3900P/SR3700P/WR1000

・「テプラ」本体が USB デバイスサーバ RDS10 に接続されている。

・USB デバイスサーバ RDS10 と iOS 端末が同一の無線 LAN 環境で使用できるよう設定されている。

USB デバイスサーバ RDS10 の設定については RDS10 に同梱の「RDS10 セットアップガイド」、iOS 端末の設定については iOS 端末の説明書をご覧ください。

※ iOS 端末から USB デバイスサーバ RDS10 のセットアップはできません。

SR5900P

・インフラストラクチャモードで接続している場合、「テプラ」本体と iOS 端末が同一の無線 LAN 環境で使用できるよう設定されている。

・アクセスポイントモードで接続している場合、「テプラ」本体と iOS 端末を無線で直接接続するよう設定されている。

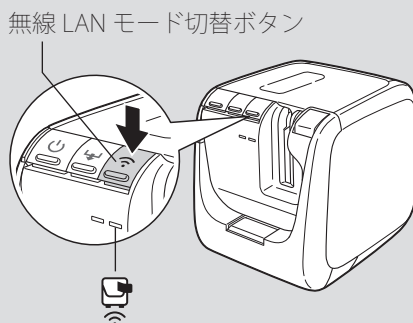
☞ P. 6 MEMO「例：SR5900P をアクセスポイントモードで接続する」

SR5900P の設定については「SR5900P セットアップガイド」（Windows）または「MacOS 用セットアップガイド」（MacOS）をご覧ください。

「SR5900P セットアップガイド」は「テプラ」本体に同梱されています。
「MacOS 用セットアップガイド」は当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードしてください。iOS 端末の設定については iOS 端末の説明書をご覧ください。

MEMO

例：SR5900P をアクセスポイントモードで接続する

① SR5900P 本体の（無線 LAN モード切替）ボタンを押して（アクセスポイントモード）ランプを点灯させます（起動直後は一定時間点滅のあと、点灯になります）。

② SR5900P 本体の（無線 LAN モード切替）ボタンを 3 秒以上押して「ステータス印刷」をし、SSID とパスワードを確認します。

※「ステータス印刷」をおこなうためには、テープカートリッジ（6 ～ 36mm 幅）をセットしておく必要があります。

③ iOS 端末の［設定］で、無線 LAN アクセスポイントとして SR5900P を検索します。

④「DIRECT-SR5900P XXXXXX」をタップしたときに表示される画面で、パスワードを入力します。

■「テプラ」の選択

「テプラ」本体が複数台接続されている場合は、使用する「テプラ」本体を選択します。

1 アイコンをタップして「TEPRA LINK」を起動する

2 ⚙（印刷設定）アイコンをタップする

3 ［テプラ］をタップする

④ 使用する「テプラ」本体名を選択する

注 意！

「テプラ」本体名が表示されない場合は、USB デバイスサーバ RDS10 または SR5900P、iOS 端末の無線 LAN 設定を確認してください。

⑤ ［印刷設定］→［閉じる］をタップしてメイン画面に戻る

❻ ステータスバーで接続を確認する

ステータスバーが表示されていない場合は、（ステータスバー表示／非表示）アイコンをタップすると表示されます。

ステータスバーに以下のメッセージが表示されるときは、印刷できません。

※（　）はステータスアイコンの色

「「テプラ」は使用中です」（黄）：他のユーザーが使用中です。

「「テプラ」が見つかりません」（赤）：「テプラ」本体が接続されていないか電源が入っていません。

MEMO

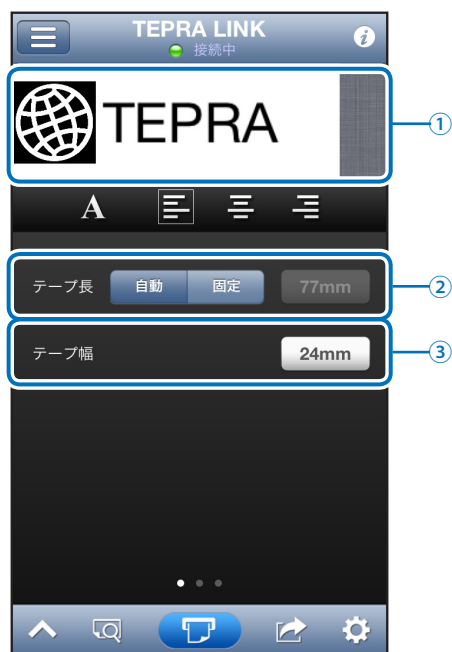
- USB デバイスサーバ RDS10 に接続された「テプラ」本体を選択したとき、他のユーザーが使用している「テプラ」本体を選択すると、そのユーザーに切断要求を送信します。送信先のユーザーの応答を待っている間は、ステータスバーに「「テプラ」は使用中です」（ステータスアイコン：黄）と表示されます。以降、応答によってメッセージは以下の通りに表示されます。（　）はステータスアイコンの色です。
  - ・切断された場合：「待機中です」（緑）
  - ・切断されなかった場合：「「テプラ」は使用中です」（黄）
- 「テプラ」本体に異常が発生したときもステータスアイコンが赤で表示されます。メッセージで異常の内容を確認してください。

使ってみよう

ここでは、ラベル作成、印刷、保存までの基本的な操作について説明します。

■テープ設定を変更する

テープの長さと幅を設定します。

1 テープ長とテープ幅を設定する

①テープビュー：
ラベルの入力内容が表示されます。

②テープ長：
［自動］：入力した内容の長さに合わせてテープの長さを自動的に調整します。
［固定］：［XXmm］をタップしてテープの長さを設定します。設定した長さに合わせて、テープビューに表示されるテープの長さも変更されます。

③テープ幅：
使用するテープ幅を設定します。デフォルトでは、セットされているテープの幅が表示されます。［XXmm］をタップしてテープの幅を変更します。設定した幅に合わせて、テープビューに表示されるテープの幅も変更されます。

MEMO

- テープ設定の画面が表示されていないときは、操作画面を左右にスワイプして切り替えてください。
- 使用する「テプラ」本体により、実際に印刷できるテープ幅が以下の通り異なります。
  SR5900P/SR3900P：4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm
  SR3700P：4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm
  WR1000：50mm、100mm
- テープ幅により、印刷できる行数の上限が以下の通り異なります。
  4mm、6mm：1 行
  9mm：2 行
  12mm：3 行
  18mm：5 行
  24mm、36mm：6 行
  50mm、100mm：10 行
- 「TEPRA LINK」では、以下のテープは使用できません。
  インデックスラベル、ケーブル表示ラベル、アイロン転写テープ、カットラベル

■新規作成でテキストを入力する

ラベルを新規作成し、テキストを入力します。

1 （メニュー）アイコンをタップし、［新規作成］を選択する

MEMO

既存のレイアウトやラベルデザインなどを使って作成することもできます。

P.41「レイアウトやラベルデザインを使って作成する」

2 「編集中のラベルを破棄しますか？」と表示されるので、［OK］を選択する

破棄したくない場合は、いったん保存し、再度手順1からおこなってください。

P.18「保存する」

MEMO

ラベルにテキストやイメージが入力されていると、編集していない場合でも「編集中のラベルを破棄しますか？」と表示されます。何も入力されていないときは表示されません。

③ テキストを入力し、［完了］をタップする

入力後にタップして
テキスト入力画面を閉じます。

iPad

テープビュー：
入力したテキストが
表示されます。

テキストボックス：
テキストが入力
されます。

MEMO

いったん入力したテキストを変更したいときは、iPhone/iPod touch はテープビュー、iPad はテープビューまたはテキストボックスをタップしてください。

テキストのほかに、QR コードや記号なども挿入できます。それぞれの挿入方法については、以下を参照してください。

- QR コード P.19「住所や電話番号などを QR コードで挿入する」
- 連絡先 P.25「連絡先の情報を入力する」
- 手書き入力 P.28「手書きでラベルに描画する」
- 写真 P.29「アルバムの写真を挿入する」
- 外枠 P.31「外枠を周囲につける」
- 記号 P.32「記号を挿入する」

■テキストを編集する

書式と文字揃えを設定します。

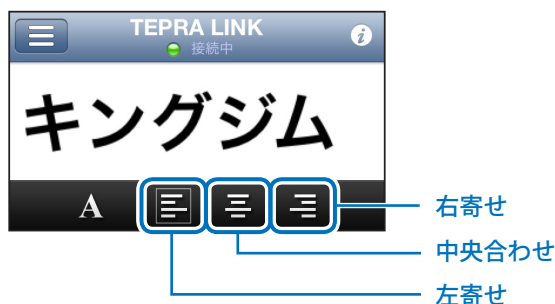
1. A（フォント）アイコンをタップする

② 書式を設定する

フォント設定画面で設定します。変更するとテープビューに表示されているテキストに反映されます。

MEMO

- 選択した書体が斜体や太字に対応していない場合は、文字装飾で斜体や太字を選択しても反映されません。
- 選択した書体が日本語に対応していない場合は、日本語のテキストには反映されません。

③ 文字揃えを設定する

MEMO

イメージ（記号や写真）と QR コードの挿入位置の設定もできます。

☞ P.35「記号や写真の挿入位置を設定する」
☞ P.35「QR コードの挿入位置を設定する」

■印刷する

❶ （印刷）アイコンをタップする

印刷を開始します。印刷中は以下の画面が表示されます。

MEMO

- 印刷中に［キャンセル］をタップすると、印刷を中止します。
- テープ幅の設定値と「テプラ」本体にセットされているテープの幅が異なる場合は、「印刷を実行しますか？」と表示されます。［キャンセル］をタップしてテープ幅の設定値を変更するか、「テプラ」本体のテープカートリッジを交換してください。［OK］をタップすると、そのまま印刷されますが、目的の印刷結果が得られません。
  ☞ P.10「テープ設定を変更する」
- 印刷が完了すると、ラベルは印刷履歴に保存されます。印刷履歴に保存されたラベルは呼び出して編集できます。
  ☞ P.48「ファイルや印刷履歴を呼び出す」
- 100 件まで印刷履歴として保存できます。

■保存する

作成したラベルをファイルに保存します。

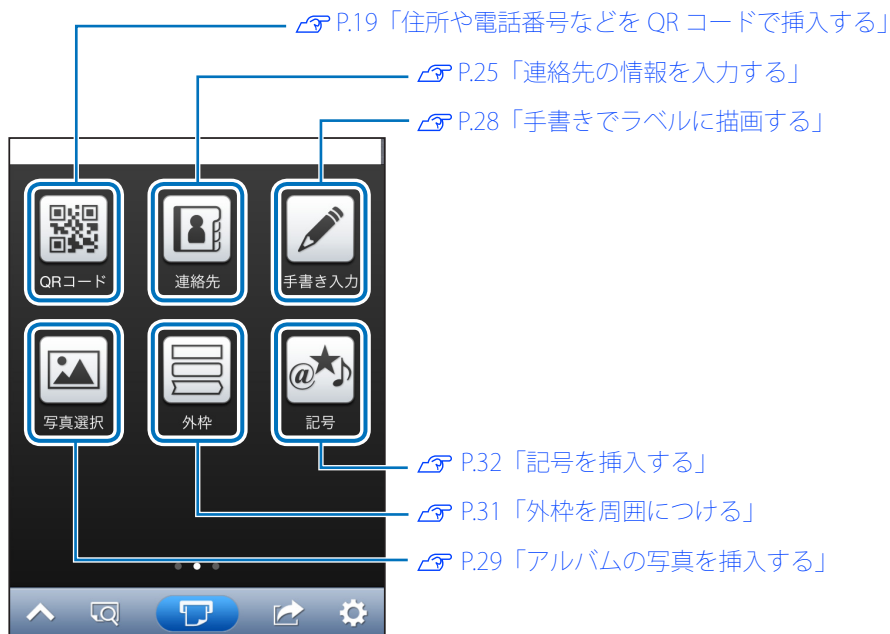
① （メニュー）アイコンをタップし、［ファイル保存］を選択する

②「保存しました」と表示されるので、［OK］をタップする

MEMO

- 100 件までファイルに保存できます。
- 保存されたファイルは呼び出して編集できます。
  ☞ P.48「ファイルや印刷履歴を呼び出す」
- （取り出し）アイコンをタップして［メール送信］を選択すると、ファイルをメールに添付して送信できます。

挿入する

テキストの他に以下の挿入もできます。

MEMO

上記画面が表示されていないときは、操作画面を左右にスワイプして切り替えてください。

■住所や電話番号などを QR コードで挿入する

住所や電話番号、URL などの情報を QR コードにして挿入します。連絡先に登録されている情報から QR コードを作成することもできます。

テキストを入力して QR コードを作成する

1 ［QR コード］アイコンをタップする

② テキストを入力する

MEMO

- QR コードが小さいと、読み取られない可能性があります。テープ幅 18mm 以上で作成してください。
- QR コードに入力できる文字数は、半角文字で 1990 文字、全角文字で 842 文字までです。この文字数は入力可能な文字数であり、読み取りができることを保証するものではありません。
- QR コードは「モデル 2」、「誤り訂正レベル Low」の仕様で作成されます。
- 印刷した QR コードは、読み取れることを確認してからご使用ください。
- ［消去］をタップすると、入力したテキストがすべて消去されます。

❸［完了］をタップする

QR コードが挿入されます。

MEMO

QR コードの挿入位置は変更できます。

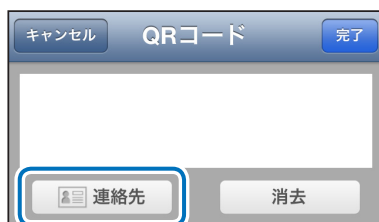
P.35「QR コードの挿入位置を設定する」

iOS 端末に登録されている連絡先の情報から QR コードを作成する

MEMO

連絡先の情報は、vCard 形式で QR コードに記録されます。この手順で作成した QR コードを読み取るときは、vCard 形式に対応した端末、ソフト、アプリなどを使ってください。

1 ［QR コード］アイコンをタップする

2 ［連絡先］をタップする

MEMO

「TEPRA LINK」をインストール後、初めて［連絡先］をタップすると、「"TEPRA LINK" が連絡先へのアクセスを求めています」と表示されます。選択項目によって動作が以下の通り異なります。

- ［OK］：連絡先の一覧が表示され、手順 3 以降の操作ができます。
- ［許可しない］：連絡先の一覧は表示されず、連絡先の情報を入力できません。

［OK］をタップしても連絡先の一覧が表示されない場合は、［キャンセル］をタップしてもう一度［連絡先］をタップしてください。

3 QR コードを作成する連絡先を選択する

④ QR コードに含める項目を設定し、［完了］をタップする

「住所」、「氏名」、［会社名」、「電話番号」、「メールアドレス」について、それぞれ［オン］（含める）/［オフ］（含めない）で設定します。

項目内に入力が複数ある場合は選択します。

❺［完了］をタップする

QR コードが挿入されます。

MEMO

QR コードの挿入位置は変更できます。

P.35「QR コードの挿入位置を設定する」

■連絡先の情報を入力する

iOS 端末の連絡先に登録されている情報を入力します。

❶［連絡先］アイコンをタップする

MEMO

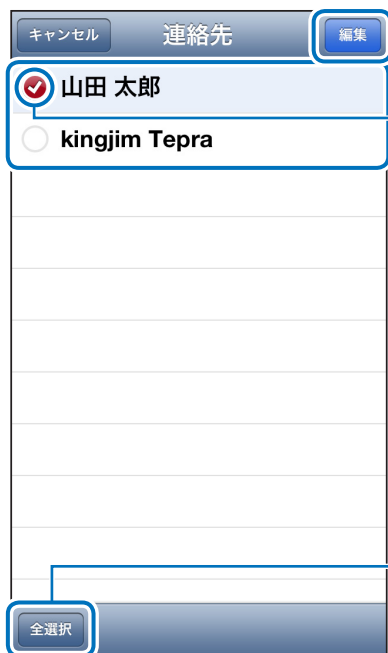
「TEPRA LINK」をインストール後、初めて［連絡先］アイコンをタップすると、「"TEPRA LINK" が連絡先へのアクセスを求めています」と表示されます。選択項目によって動作が以下の通り異なります。

・［OK］：連絡先の一覧が表示され、手順❸以降の操作ができます。

・［許可しない］：連絡先の一覧は表示されず、連絡先の情報を入力できません。

［OK］をタップしても連絡先の一覧が表示されない場合は、［キャンセル］をタップしてもう一度［連絡先］アイコンをタップしてください。

❷入力する連絡先を選択し、［編集］をタップする

複数選択することもできます。

選択するとチェックマークがつきます。

［全選択］と［選択解除］を切り替えます。

［全選択］：すべての連絡先を選択

［選択解除］：すべての選択を解除

③ 入力する項目を設定し、[完了] をタップする

「住所」、「氏名」、「会社名」、「電話番号」、「メールアドレス」について、それぞれ [オン] (入力する) / [オフ] (入力しない) で設定します。項目内に入力が複数ある場合は選択します。

連絡先の情報が入力されます。

MEMO

手順 2 で複数の連絡先を選択した場合、以下の操作が可能になります。

- テープビューを上下にスワイプすると、他に選択した連絡先が表示されます。
- 連絡先ごとに、テープ長、書式、文字揃えを設定できます。
  P.10「テープ設定を変更する」
  P.14「テキストを編集する」
- （印刷）アイコンをタップして印刷するとき、「選択されたすべての連絡先の印刷をおこないますか？」と表示されます。
  ［はい］を選択：すべての連絡先を印刷
  ［いいえ］を選択：表示中の連絡先のみ印刷

■手書きでラベルに描画する

画面上を指でなぞってラベルに手書きで描画します。

1 ［手書き入力］アイコンをタップする

2 手書き入力画面を指でなぞって描画し、［完了］をタップする

（ペン）アイコンをタップして太さを選択し、描画します。

操作方法のアニメーションが表示されます。

描画領域：指でなぞって描画します。

（ペン）：
描画します。3 種類の太さから選択できます。

（消しゴム）：
描画をなぞって消します。
3 種類の太さから選択できます。

（元に戻す）：
直前の操作前の状態に戻します。
5 件前までの状態に戻せます。

（やり直す）：
元に戻した操作をやり直します。
5 件までの操作をやり直せます。

（全消去）：
描画をすべて消去します。

手書き入力画面で描画したものが表示されます。

MEMO

描画領域は以下の操作で表示を変更できます。
　ピンチアウト：拡大
　ピンチイン：縮小
　2 本指ドラッグ：ラベルの表示位置移動
　ラベルの右端をホールドしてドラッグ：テープ長調整

■アルバムの写真を挿入する

iOS 端末に保存されているアルバム内の写真を挿入します。

注 意！

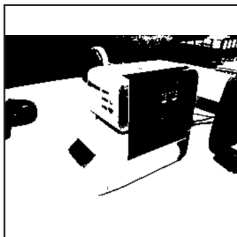
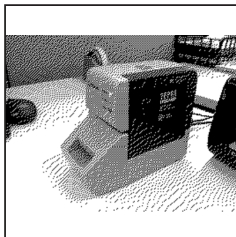
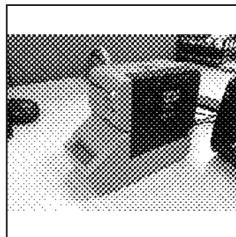
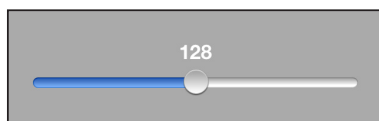
挿入時にカラー写真は白 / 黒に減色されます。

1 ［写真選択］アイコンをタップする

2 挿入する写真を選択する

③ 2 値化 / 減色方法を選択し、［完了］をタップする

［しきい値］、［誤差拡散］、［スクリーン］から選択します。

［しきい値］
白と黒の 2 階調のみで表示します。

［誤差拡散］
誤差拡散法で 2 値化します。

［スクリーン］
ハーフトーンスクリーンで表示します。

［しきい値］を選択した場合、スライドバーで白 / 黒の境界値を設定します。

写真が挿入されます。

MEMO

写真の挿入位置は変更できます。

P.35「記号や写真の挿入位置を設定する」

■外枠を周囲につける

ラベルの周囲に外枠をつけます。

1 ［外枠］アイコンをタップする

2 挿入する外枠を選択し、［完了］をタップする

外枠が挿入されます。

■記号を挿入する

あらかじめ用意されている記号をラベルに挿入します。

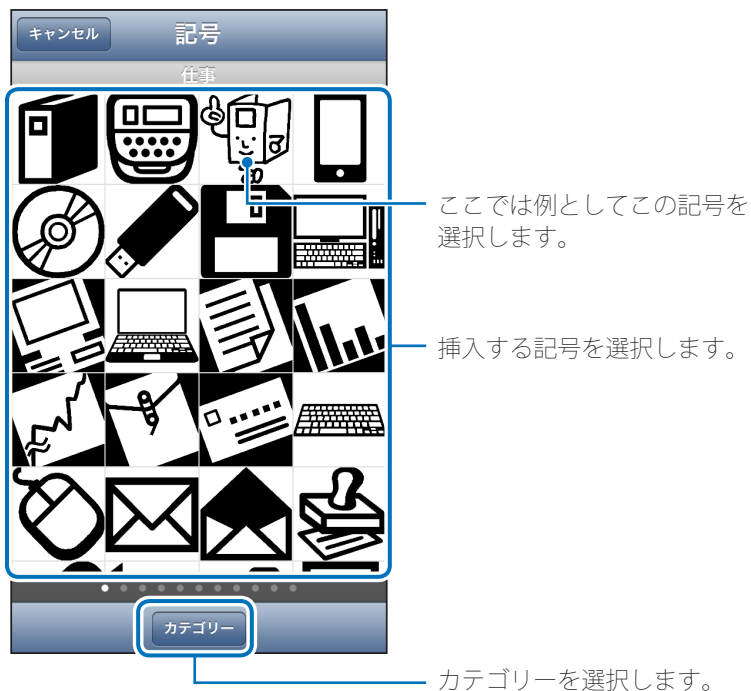
1 ［記号］アイコンをタップする

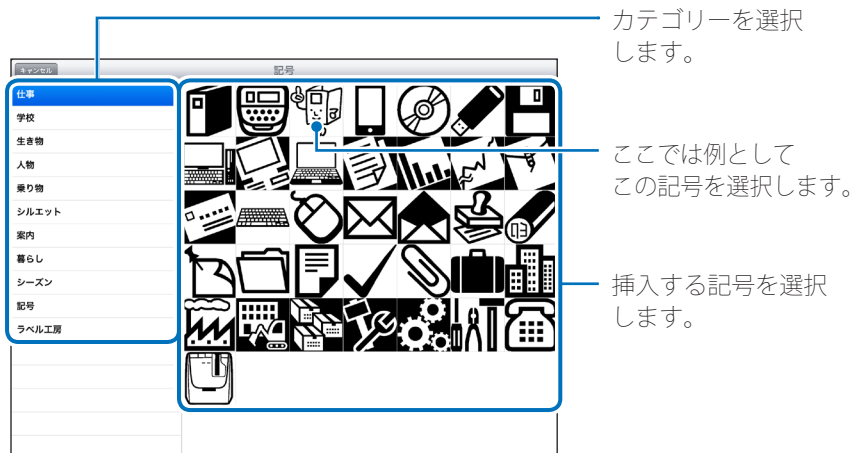
2 挿入する記号を選択する

iPhone/iPod touch

ここでは例としてこの記号を選択します。

挿入する記号を選択します。

カテゴリーを選択します。

MEMO

記号一覧の画面を左右にスワイプしても、カテゴリーを切り替えられます。

記号が挿入されます。

MEMO

記号の挿入位置は変更できます。

☞ P.35「記号や写真の挿入位置を設定する」

編集する

テキストの編集（書式設定、文字揃え）の他に、記号や写真の挿入位置やQR コードの挿入位置の設定もできます。

P.35「記号や写真の挿入位置を設定する」
P.35「QR コードの挿入位置を設定する」

MEMO

上記画面が表示されていないときは、操作画面を左右にスワイプして切り替えてください。

■記号や写真の挿入位置を設定する

イメージ（記号や写真）の挿入位置と表示 / 非表示を設定します。

❶ イメージ挿入位置を設定する

（なし）：
イメージを非表示にします。

（左寄せ）：
イメージを左端に配置します。

（中央合わせ）：
イメージを中央に配置します。

（右寄せ）：
イメージを右端に配置します。

（全体）：
イメージをテープ幅いっぱいに拡大して配置します。

■QR コードの挿入位置を設定する

QR コードの挿入位置と表示 / 非表示を設定します。

❶ QR コード挿入位置を設定する

（なし）：
QR コードを非表示にします。

（左寄せ）：
QR コードを左端に配置します。

（右寄せ）：
QR コードを右端に配置します。

印刷する

印刷に関する機能として以下の機能があります。

P.39「印刷に関する設定をする」
P.36「印刷イメージを確認する」

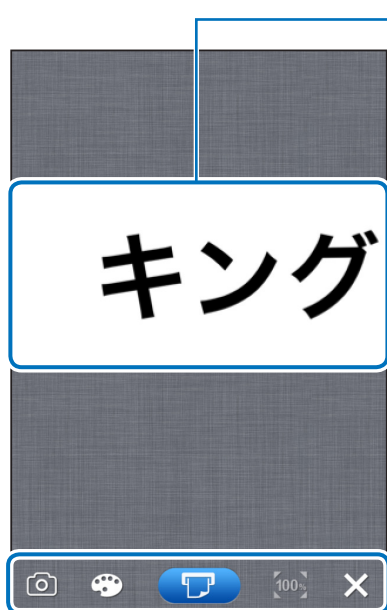
■印刷イメージを確認する

プレビュー画面で、ラベルの印刷イメージを実寸大で確認できます。

MEMO

プレビュー表示中に画面をタップするか iOS 端末をシェイクすると、ラベルが印刷されます。

画面上で確認する

1. （プレビュー）アイコンをタップする
2. プレビュー画面で印刷イメージを確認する

ピンチアウト：拡大
ピンチイン：縮小
ドラッグ：ラベルの表示位置移動

（カメラ）：カメラを起動します。
P.37「ラベルを貼ったときのイメージを確認する」

（色設定）：
プレビュー上のラベルの色設定画面を表示します。
P.38「ラベルやテキストの色のイメージを確認する」

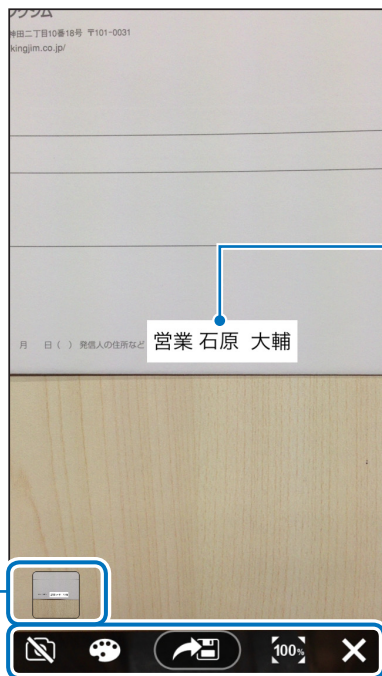
（印刷）：P.16「印刷する」

（原寸大表示）：
拡大または縮小表示しているときに、実寸大の表示に戻します。

（閉じる）：
プレビューを終了します。

ラベルを貼ったときのイメージを確認する

1. （プレビュー）アイコンをタップする
2. （カメラ）アイコンをタップする
3. ラベルを貼る場所を写し、イメージを確認する

実際に貼ったときのイメージを確認します。

直近で撮影した写真が表示されます。

ピンチアウト：拡大
ピンチイン：縮小
ドラッグ：ラベルの表示位置移動

（カメラ終了）：
カメラを終了します。

（色設定）：
色設定画面を表示します。
P.38「ラベルやテキストの色のイメージを確認する」

（撮影）：
撮影してアルバムに保存します。

（原寸大表示）：
拡大または縮小表示しているときに、実寸大の表示に戻します。

（閉じる）：
プレビューを終了します。

MEMO

直近で撮影した写真が、画面左下にサムネイル表示されます。
サムネイルをタップすると、「写真」アプリが起動し、写真を確認できます。
引き続き「TEPRA LINK」を使う場合は、もう一度「TEPRA LINK」を起動してしてください。

ラベルやテキストの色のイメージを確認する

① （プレビュー）アイコンをタップする

② （色設定）アイコンをタップする

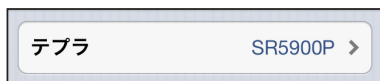
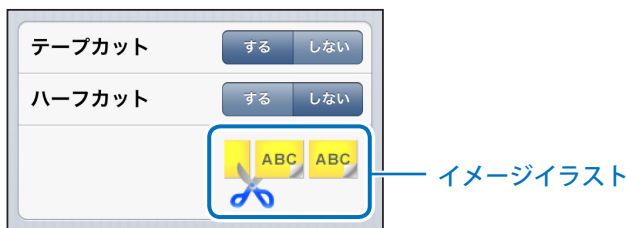
色設定画面が表示されます。

③ ラベルやテキストの色を設定し、イメージを確認する

R（赤）、G（緑）、B（青）のそれぞれについて、0～255の範囲で設定できます。

■印刷に関する設定をする

1 (印刷設定) アイコンをタップする

2 印刷設定をする

使用する「テプラ」本体を選択します。
P.7「「テプラ」の選択」

テープカットとハーフカットの設定をします。
設定に合わせてイメージイラストが変わります。

MEMO

使用するテープの種類によっては、テープカットやハーフカットに対応していません。テープカットまたはハーフカット非対応のテープの種類については、「テプラ」本体に同梱の取扱説明書をご覧ください。

余白を設定します。
[ふつう]：10mm（テープ幅が 36mm 以下）
　　　　：21mm（テープ幅が 50mm 以上）
[極少]　：1mm

SR5900P に接続している場合のみ設定できます。
通常は［高速］に設定します。
テープの種類が上質紙ラベル、りぼんの場合は［低速］に設定します。

印刷枚数を設定します。99 枚まで設定できます。

印刷濃度を設定します。設定範囲は -3 ～ 3 で、数値が小さくなるほど薄くなり、大きくなるほど濃くなります。

MEMO

使用するテープの種類によって、印刷濃度を「3」に調整する場合があります。印刷濃度の調整が必要なテープの種類については、「テプラ」本体に同梱の取扱説明書をご覧ください。

テープを空送りします。

テープを空送りしてカットします。

レイアウトやラベルデザインを使って作成する

あらかじめ用意されたレイアウトやラベルデザインを使ってラベルを作成できます。

■単一レイアウトと分割レイアウト

レイアウトとラベルデザインには、「単一レイアウト」と「分割レイアウト」の 2 種類があります。

単一レイアウト

1 つのラベルに、テキストブロック、記号、写真、QR コードが 1 つだけあるレイアウトです。

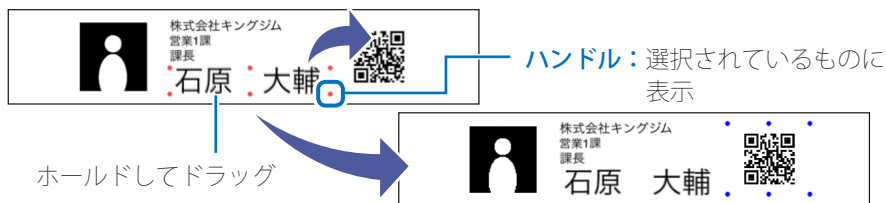
例 : 写真、テキストブロック、QR コードが 1 つずつあるレイアウト

分割レイアウト

1 つのラベルに、テキストブロック、記号、写真、QR コードが複数あるレイアウトです。

それぞれの挿入箇所は、レイアウトやラベルデザインで決められています。任意の場所に移動することはできません。

例 : テキストブロックが 4 つ、写真と QR コードが 1 つずつあるレイアウト

ハンドルで囲まれているものをホールドすると、ハンドルが赤く表示されます。そのままドラッグすると、ドラッグ先にあるものにハンドルが移動して選択されます。

■レイアウトを使って作成する

「備品管理」や「宛名」など、あらかじめ用意されたレイアウトを使ってラベルを作成します

1. （メニュー）アイコンをタップし、［レイアウト設定］を選択する

② レイアウトを選択する

MEMO

レイアウト一覧の画面を左右にスワイプしても、カテゴリーを切り替えられます。

③ 必要に応じて、編集する

レイアウト（単一レイアウト / 分割レイアウト）によりテープビューでの操作が異なります。レイアウトについては以下を参照してください。

P.41「単一レイアウトと分割レイアウト」

編集方法

●単一レイアウト

編集対象の修正、再選択：対象をタップ

写真の 2 値化 / 減色方法の設定：写真をダブルタップ

●分割レイアウト

編集対象を選択し、以下の操作をします。

テキストの修正：テキストをタップ

QR コードの修正と記号の再選択：対象をダブルタップ

写真の 2 値化 / 減色方法の設定：写真をダブルタップ

MEMO

分割レイアウトで写真を再選択する場合、写真を選択して挿入の操作画面で［写真選択］アイコンをタップします。

同様に、他の編集対象でも、選択したときに有効になっているアイコンをタップすると編集できます。例えば以下の場合、連絡先の入力、手書き入力、写真の再選択、記号の挿入が可能です。

以降は入力や挿入の手順と同様です。

P.12「新規作成でテキストを入力する」

P.19「挿入する」

テキストの書式や文字揃えを変更する場合は、以下を参照してください。

P.14「テキストを編集する」

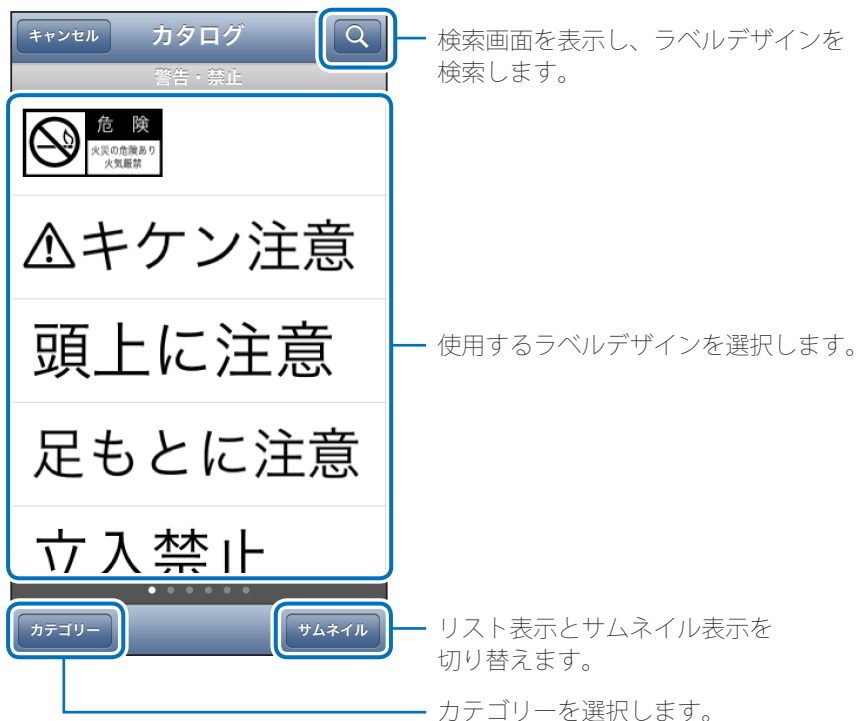
記号や写真、QR コードの挿入位置を変更する場合は、以下を参照してください。

P.34「編集する」

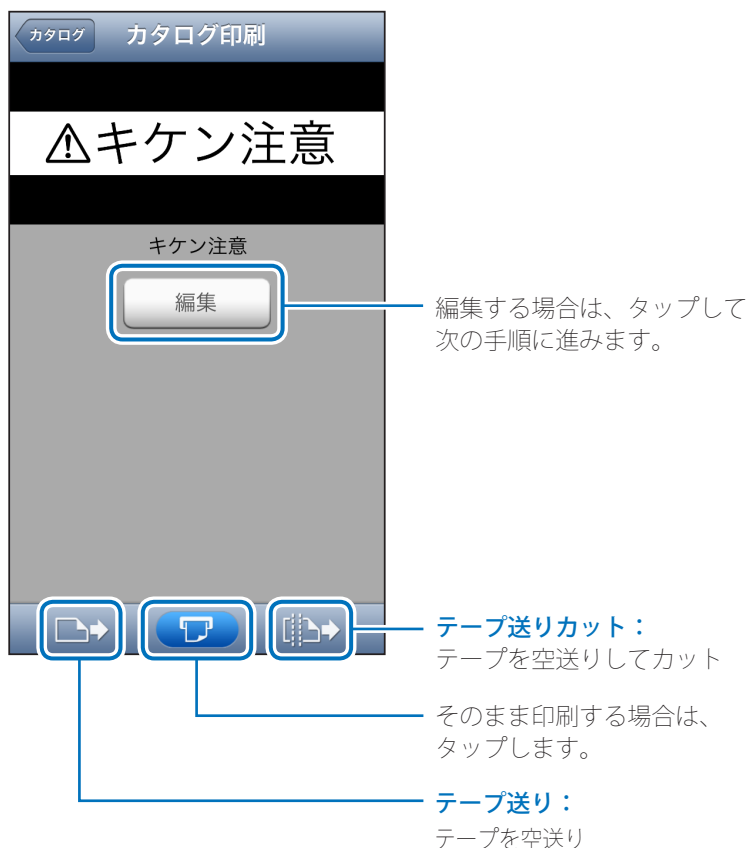
■カタログにあるラベルデザインを使って作成する

「警告・禁止」や「案内」など、あらかじめ用意されたラベルデザインを使ってラベルを作成します。

1 （メニュー）アイコンをタップし、［カタログから選択］を選択する

② ラベルデザインを選択する

MEMO

カタログ一覧の画面を左右にスワイプしても、カテゴリーを切り替えられます。

③ 編集または印刷する

④ 編集する

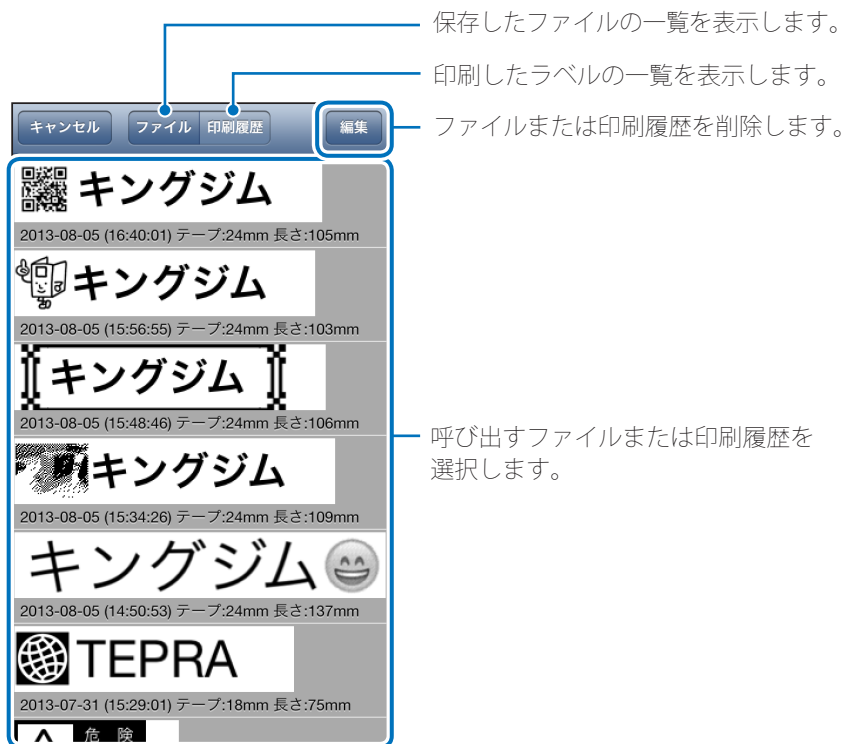
レイアウト（単一レイアウト / 分割レイアウト）によりテープビューでの操作が異なります。レイアウトについては以下を参照してください。

☞ P.43「編集方法」

ファイルや印刷履歴を呼び出す

保存したラベルのファイルや、印刷履歴から過去に印刷したラベルを呼び出します。

1 (メニュー) アイコンをタップし、[ファイル / 印刷履歴] を選択する

② 呼び出すファイルや印刷履歴を選択する

③ 必要に応じて、編集する

レイアウト（単一レイアウト / 分割レイアウト）によりテープビューでの操作が異なります。レイアウトについては以下を参照してください。

☞ P.43「編集方法」

MEMO

- ファイルと印刷履歴を消去できます。
  ファイル一覧または印刷履歴一覧画面で［編集］をタップすると、ファイル・印刷履歴消去画面が表示されます。

消去するファイルまたは印刷履歴を選択します。

すべてのファイルまたは印刷履歴を選択します。

選択したファイルまたは印刷履歴を消去します。

- ファイルや印刷履歴をメール送信できます。
  ファイル一覧または印刷履歴一覧画面で、メール送信するラベルをホールドすると、［メール送信］と表示されます。
  ［メール送信］をタップすると、ラベルをメールに添付して送信できます。

故障かな？と思ったら

動作しない、印刷できないなど、問題が発生した場合は、次の項目を確認してください。

■印刷を実行しても「テプラ」本体が動作しない

Q **ステータスバーに異常を示すメッセージが表示されていませんか？**

A 異常が発生すると印刷できません。メッセージの内容を確認してください。

Q **無線 LAN 設定は正しく実行しましたか？**

A 正しい手順で iOS 端末との接続をおこなったかどうかを確認してください。無線 LAN で接続する手順について、SR5900P の場合は「SR5900P セットアップガイド」（Windows）または「MacOS 用セットアップガイド」（MacOS）をご覧ください。「SR5900P セットアップガイド」は「テプラ」本体に同梱されています。「MacOS 用セットアップガイド」は当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。USB デバイスサーバ RDS10 に接続された「テプラ」本体の場合は RDS10 に同梱の「RDS10 セットアップガイド」を参照してください。

Q **無線 LAN での接続が確立していますか？**

A SR5900P の場合は「テプラ」本体のランプで、USB デバイスサーバ RDS10 に接続された「テプラ」本体の場合は RDS10 のランプで、接続されているかどうかを確認してください。

■きちんと印刷されない

Q **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**

A テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください（WR1000 の場合は、インクリボンカートリッジについても正しくセットされているか確認してください）。

Q **テープがたるんでいませんか？**

A テープがたるんでいると、印刷結果が欠けたり、カスレたりすることがあります。テープ送りをして、たるみを取ってください。

Q **印刷ヘッドが汚れていませんか？**

A 印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると印刷結果の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。「テプラ」PRO本体の場合は、別売のヘッド・クリーニングテープもご使用いただけます。

■途中までしか印刷されない

Q **テープカートリッジの残りがありますか？**

A 新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷しなおしてください。

Q **テープが終了するなどで印刷が中断していませんか？**

A 新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷しなおしてください。SR5900Pの場合は、印刷再開を設定する画面が表示され、印刷を再開するかキャンセルするかを選択できます。

Q **［テープ長］の［固定］で設定した長さが、入力内容の長さよりも短くなっていませんか？**

A 長さを入力内容の長さよりも長く設定するか、［自動］に設定してください。

☞ P.10「テープ設定を変更する」

■ラベル印刷後、自動カットされない

Q **テープカットを［しない］に設定していませんか？**

A ［テープカット］を［しない］に設定すると、印刷後の自動カットはおこないません。印刷設定画面で、設定を確認してください。

☞ P.39「印刷に関する設定をする」

Q カッターの刃が磨耗していませんか？

A カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

Q オートカッター使用禁止のテープを使用していませんか？

A 使用するテープの種類によって、自動カットができません。印刷設定画面で、［テープカット］を［しない］に設定してください。

☞ P.39「印刷に関する設定をする」

2013年9月 第1版